



Interface to the Future
- Solution by Smart Connectivity -

ザインエレクトロニクス株式会社 2025年12月期 第3四半期決算説明資料

2025.11.05

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2025年12月期3QTR業績概要
- 新中期経営戦略「**Innovate100**」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2025年12月期3QTR業績概要
- 新中期経営戦略「Innovate100」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

会社概要

Interface to the Future
- Solution by Smart Connectivity -

“高速情報伝送の世界標準技術等、独自の価値を世界市場に提供”

- 社名 ザインエレクトロニクス株式会社
 (英名：THine Electronics, Inc.)
- 代表者 代表取締役会長 飯塚 哲哉
 代表取締役社長 南 洋一郎
- 創業理念 「人資豊燃」
- 資本金 11億7,526万円
- 創業 1991年5月 (株)ザイン・マイクロシステム研究所)
- 株式公開 2001年8月 東京証券取引所 (スタンダード)
- 事業内容 ミックスドシグナルLSIの設計開発・製造・販売
 AI・IoTソリューション開発・提供、
 AI等データサーバー製品の企画・開発・製造・販売
- 従業員数 131名 (2025年9月末日現在、連結ベース)
 ※ 『健康経営優良法人2025』 認定



事業拠点

韓国 - Korea -



ザインエレクトロニクスコリア
(THine Electronics Korea, Inc.)
韓国ソウル市 2010年3月設立

中国 - China -

賽恩電子香港股份有限公司
(THine Electronics Hong Kong, Co., Ltd.)
2012年11月設立
前海赛恩电子(深圳)有限公司
(THine Electronics Shenzhen, Co., Ltd.)
2013年5月設立
同社上海分公司
2013年10月設立
深圳泰晨訊科技有限公司
(Shenzhen DynaCathay Communication
Technology Co., Ltd.)
2018年12月連結子会社化



台湾 - Taiwan -



哉英電子股份有限公司
(THine Electronics Taiwan, Inc.)
台湾台北市 2000年9月設立

LSI

東京本社 - Tokyo -

東京都千代田区
1991年5月 創業

AIOT

Server

米国 - United States -

THine Solutions, Inc.
アメリカ合衆国 カリフォルニア州
2018年2月設立

THine MobileTek

ザイン・モバイルテック(株)
- Yokohama -

THine MobileTek, Inc.
神奈川県横浜市
2018年12月連結子会社化

ザイン・ハイパーデータ(株) **THine**
- Yokohama - HyperData

THine HyperData, Inc.
神奈川県横浜市
2024年6月設立

事業領域

製品・ソリューション

LSI 事業

<高速インターフェースLSI>

V-by-One® HS plus

V-by-One® HS

LVDS

Serial Transceiver IOHA:B

光半導体 (VCSELドライバ、TIA等)

<カメラソリューション>

Image Signal Processor

Camera Development Kit



AIOT 事業

<通信モジュール>

5G/LTE/NB-IoT

<AI・IoTソリューション>

IoTゲートウェイ/ルータ

AI/IoTソリューション開発



<AIサーバー>

NVIDIA H100 GPU搭載AIサーバー

<データサーバー>

General Server

Smart NIC/Switch



適用アプリケーション例

- ・ 事務機器（複合機（MFP）等）、アミューズメント機器
- ・ カメラ（車載カメラ、セキュリティカメラ、AR/VR、認証用カメラ、手術用カメラなど高精細カメラ）
- ・ 8K / 4Kなど高解像度映像機器、ゲーミング機器
- ・ ドライブレコーダ、EVなどの車載表示装置
- ・ モバイル・PC、シングルボードコンピュータ
- ・ 半導体・液晶ディスプレイ等検査装置
- ・ AI光コンピューティング（データセンター内の光ネットワーク）

<AI・IoTソリューション事業>

- ・ 通信機能付きドライブレコーダー
- ・ AED（自動体外除細動器）遠隔監視
- ・ IPトランシーバー
- ・ 自動販売機、エレベーター遠隔監視装置、決済端末
- ・ 見守りGPSトラッカー、地域見守りネットワークシステム
- ・ スマートメーター、IoTスマートモジュール
- ・ AI顔認証型体温検知システム、IoT温度監視システム

<サーバー事業>

- ・ ODM/OEMにより日本企業・AI等研究機関にAIサーバー・データサーバーを提供

事業領域

THine グループのビジネス領域

THine商品のユースケース(活用例)

THine商品は世の中の様々な商品・サービスの革新に貢献しています。



THine Electronics, Inc.

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2025年12月期3QTR業績概要
- 新中期経営戦略「Innovate100」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

'25年12月期3QTR業績のポイント①

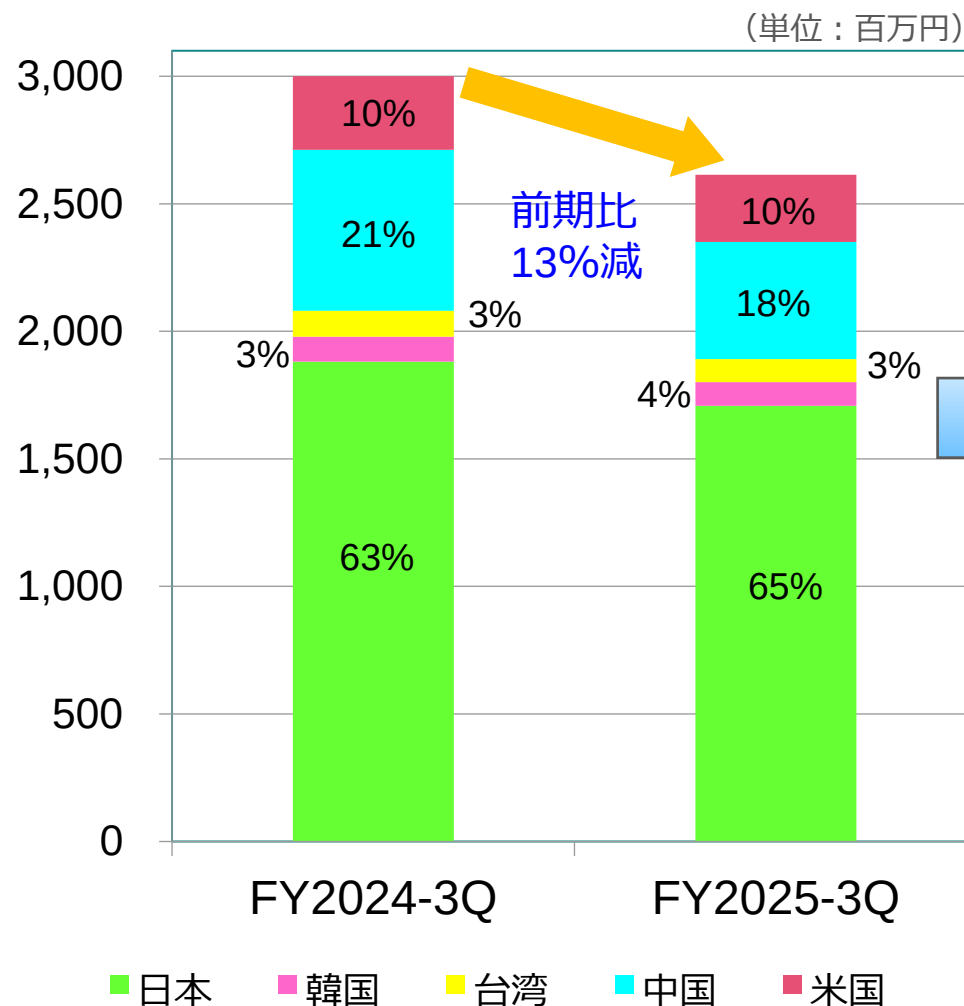
▶ 連結業績概要（2025年3QTR）

（百万円）

	2025年3QTR			2024年3QTR	
		構成比	前期比		構成比
売上高	2,613	100.0	87.1	3,000	100.0
売上総利益	1,414	54.1	84.9	1,665	55.5
販売管理費	1,884	72.1	100.9	1,867	62.2
（うち研究開発費）	932	35.7	103.9	897	29.9
営業利益	△470	△18.0	—	△201	△6.7
（EBITDA）	△415	△15.9	—	△129	△4.3
経常利益	△621	△23.8	—	△196	△6.6
参）経常利益（為替差損益を除く）	△466	△17.9	—	△198	△6.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△529	△20.3	—	△196	△6.6

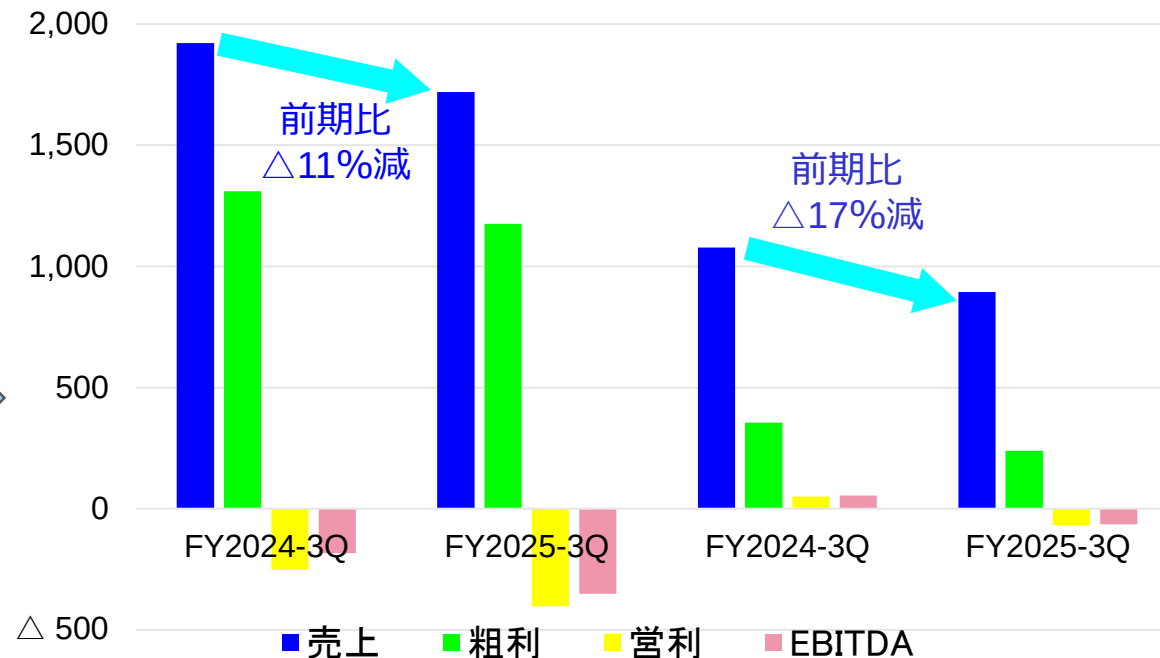
'25年12月期3QTR業績のポイント②

▶ 2025年12月期3QTR売上分析（地域別・セグメント別）



LSI事業

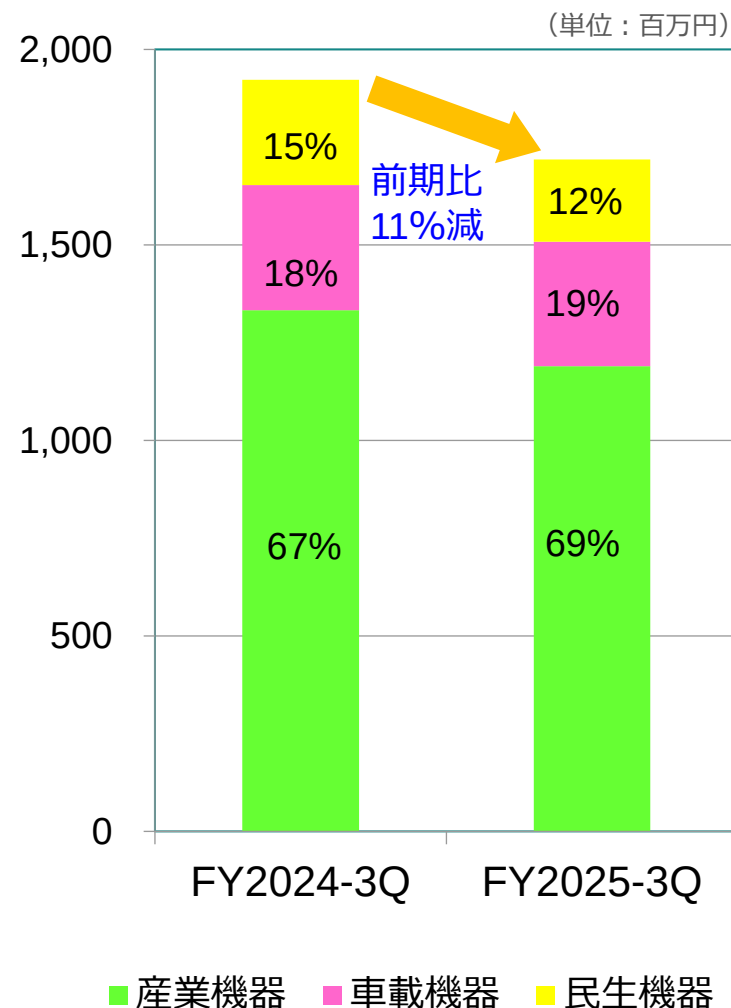
AIOT事業



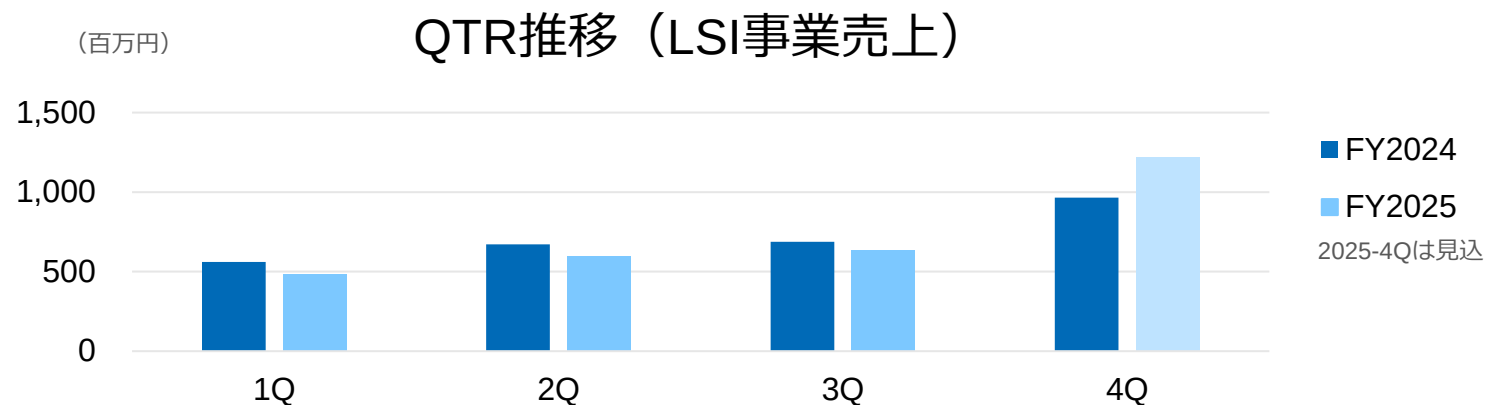
- LSIは国内市場はOA向け需要回復もアミューズ向けは依然在庫調整の影響が継続、海外市場は米国向けは引き続き堅調で、売上は前期比減収(△11%)。
- AIOTは3QTRよりスマートメータ向け量産出荷開始、AED・エレベータ向け等も堅調もドライブレコーダ向け・自販機向け等で顧客需要減少による受注減等により、売上は前期比減収(△17%)。

'25年12月期3QTR業績のポイント③

▶ LSI事業売上分析（アプリケーション・市場別）

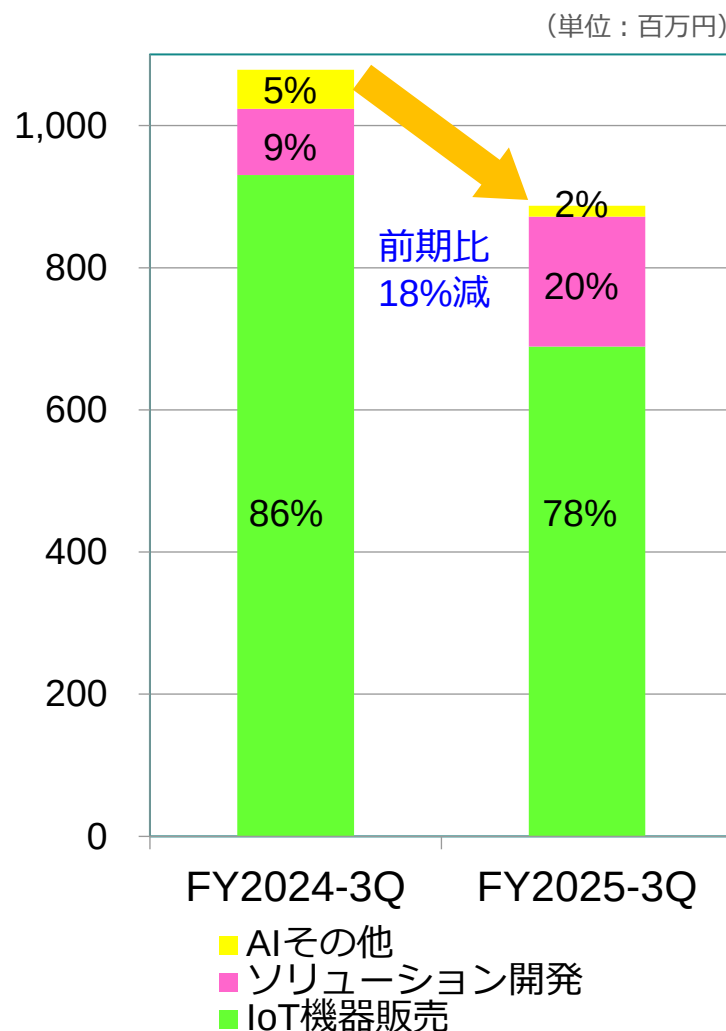


要因分析	
産機	売上全体の69%。OA機器向けは需要回復、アミューズメント機器向けは依然として在庫調整等の影響が継続、産機全体で前期比減(△11%)。OA機器向け(+25%)・アミューズメント機器向け(△63%)・その他向け(△11%)。
車載	売上全体の19%。前期比概同水準。EV向け新製品拡販継続、中国市場向けは前期比増加(+16%)。
民生	売上全体の12%。前期比減(△22%)。4K/8Kテレビ等ディスプレイ向け情報伝送技術の当社新標準V-by-One®HS plusの提供は順調に進行。



'25年12月期3QTR業績のポイント④

▶ AIOT事業売上分析（売上区分別）

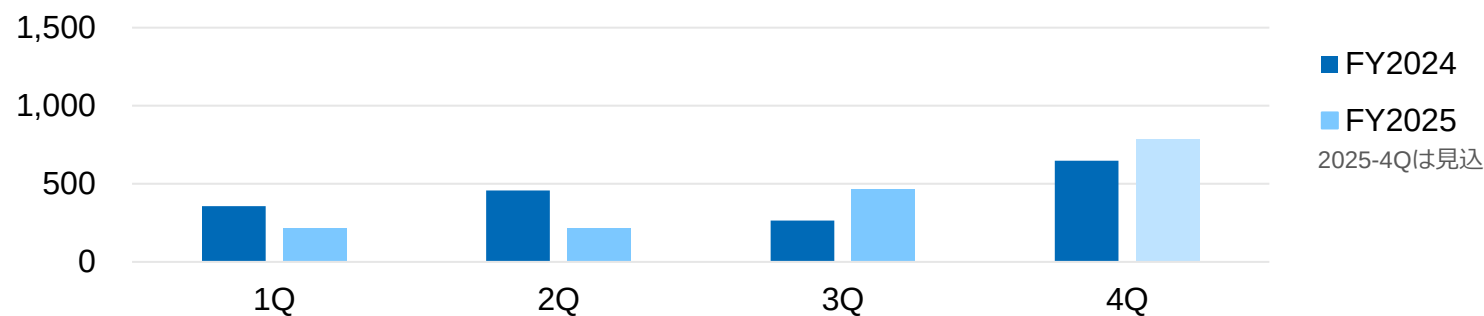


要因分析

IoT機器	売上全体の78%を占める。3QTRよりスマートメータ向け量産出荷開始。AED・エレベータ遠隔監視向け等の製品出荷も堅調もドライブレコーダ・自販機向け等の顧客の需要大幅減による受注減少等の影響により前期比減少(△26%)。
ソリューション開発	OEMルーター開発、監視カメラ組込用OEMルーター開発等、リピートオーダー等により前期比増加(+96%)。
その他	前期減少(△72%)。前期より開始したサーバービジネスの立ち上げに注力。

(百万円)

QTR推移（AIOT事業売上）



’25年12月期3QTR業績のポイント⑤

▶ 営業損益変動内訳

➤ 前期比減収（△13%）、粗利減益（△15%）。

➤ R&D投資、前期比増加（同+4%）、新製品開発に積極的に投資実施。

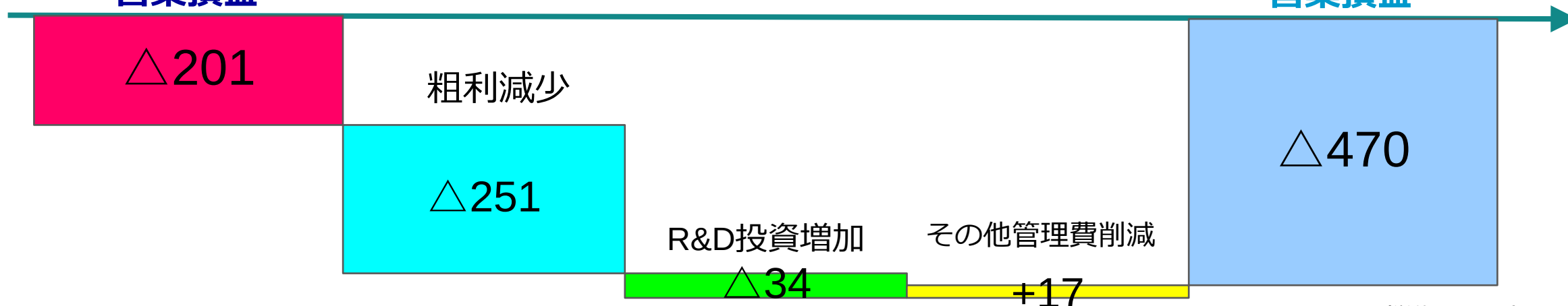
AIデータセンター向け世界初DSPレス光半導体製品開発、EVパネルおよびカメラ向けV-by-One[®]HS新製品開発、新規電源製品開発、通話機能付きGW新製品開発、スマートIoTルーター等にトータルで¥932Mを効率的に投資。

※ 総務省より受託した5Gを遥かに超える高速無線通信技術開発は当期も継続（費用は一部総務省負担）。

※ 光半導体開発はNICTの助成プログラムとして採択（3年間、令和7年度～8年度は6億22百万円の交付額）。

FY2024-3QTR
営業損益

FY2025-3QTR
営業損益

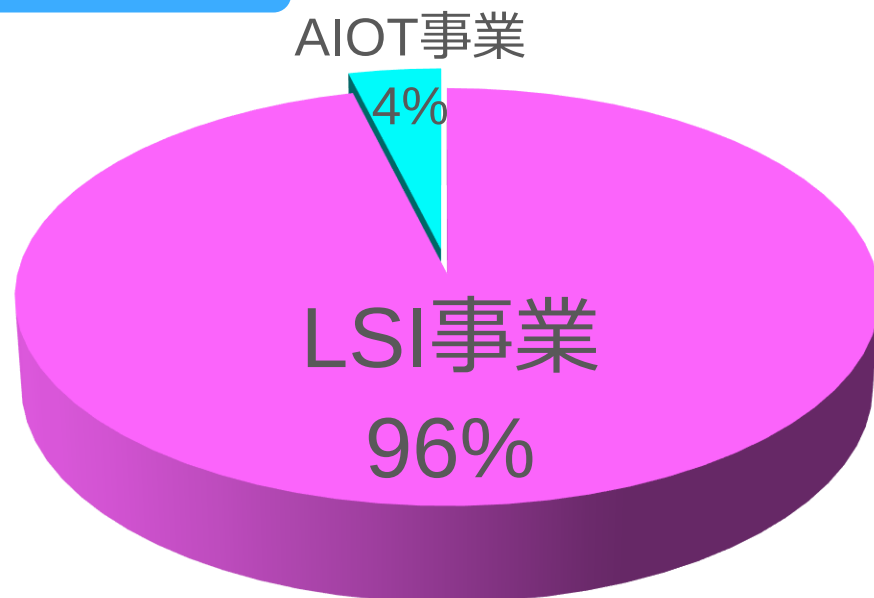


（単位：百万円）

'25年12月期3QTR業績のポイント⑥

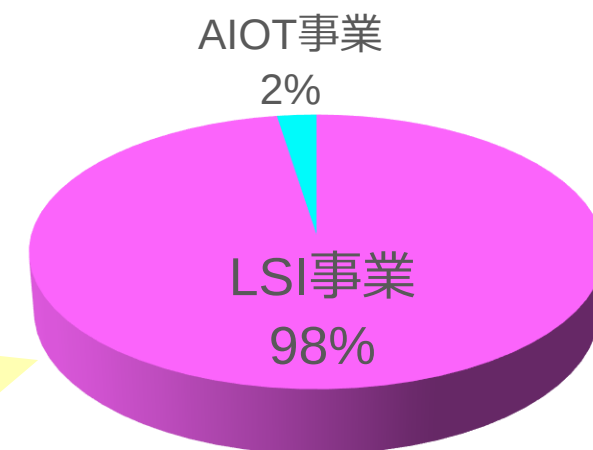
- ▶ 研究開発の状況
- 新中期経営戦略『Innovate100』の実現に向けて総額**13億65百万円**（前期比+18%）の投資を計画

'25年計画



FY2025-3QTR実績

- **9億32百万円**の投資実施
- 計画進捗率 68%
- 前期比 104%



『Innovate100』重要技術開発

- AIデータセンター向け世界初DSPレス光半導体製品開発
- EVパネル・カメラ向け等V-by-One®HS製品
- 新規電源製品開発
- エッジAI処理用モジュール開発
- 音声通話機能付きゲートウェイ製品開発
- スマートIoTルーター開発
- スマートモジュール活用ソリューション開発
- 1000Gbpsを見据えた（beyond 5G）無線通信技術開発、等

'25年12月期3QTR業績のポイント⑦

▶ 資産・負債及び純資産の概要（2025年9月末日）

（百万円）

資 産	負 債 純 資 産	
	'25-3Q末	'24末
現預金	6,791	7,306
売掛金	675	1,144
棚卸資産	1,312	842
その他流動資産	348	264
有形固定資産	147	161
無形固定資産	50	55
投資その他	431	554
資産合計	9,755	10,329
買掛金	476	289
その他流動負債	212	306
固定負債	158	141
株主資本	8,649	9,309
その他包括利益累計額	98	79
新株予約権	77	73
非支配株主持分	82	130
負債純資産合計	9,755	10,329

▶ '25年3Q末保有の米ドル建現預金残高： 約US\$8M

‘25年12月期3QTR業績のポイント⑧

▶ キャッシュフローの概要（2025年3QTR） （百万円）

	FY2025-3Q	FY2024-3Q
営業CF	△433	2
投資CF	174	△91
財務CF	△139	△161
換算差額	△116	19
期首残高	7,306	7,377
期末残高	6,791	7,146

➤ 税金等調整前純損失、売上債権減少、棚卸資産増加、等

➤ 投資有価証券売却、等

➤ 前期配当金支払い、等

➤ ¥158→¥149（2025年3QTR末）

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2025年12月期3QTR業績概要
- 新中期経営戦略「**Innovate100**」
- 当社グループ技術のご紹介

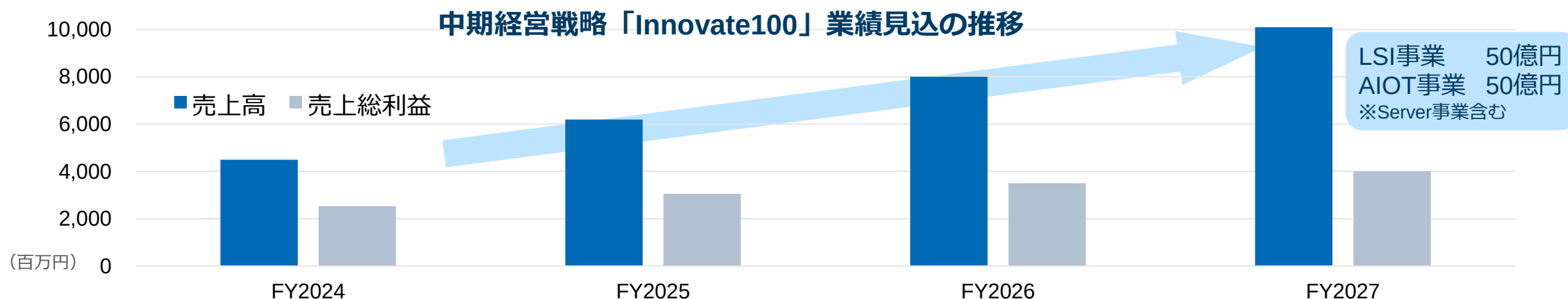
中期経営戦略 2025-27

Innovate100

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 企業価値の向上に向けて

◆ 新中期経営戦略「Innovate100」を策定し、目標年度2027年12月期において連結売上高100億円超を目指します。



新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 新中期経営戦略「Innovate100」の概要

◆ 基本戦略

THineグループ3事業（LSI/AIOT/Server）を通じてAI社会実装の加速と共に、光半導体等を通じてデータセンター消費電力の拡大抑制に貢献していく方針です。

また、コラボレーションやアライアンスを一層重視し、M&Aやパートナー企業とのwin-win協業の機会をさらに強力に模索して参ります。

◆ 具体的な取り組み

- AIプロセッサ搭載ソリューションビジネス立上げ
- DX-IoT向け配線集約用半導体の大規模適用
- EdgeAI-Link[®]によるエッジAIソリューション等のDX支援事業
- 光半導体（独自のDSPレス技術、超低消費電力、超低レイテンシー）技術開発
- AIセンシングの起点となるスマートメーターに向けた無線通信技術展開
- 車載機器・産業機器における機器とクラウド連携する無線通信ソリューションの適用加速
- 通信キャリア向けビジネス展開
- AIサーバー等、サーバー事業の拡販加速

◆ グループ3事業間のシナジー強化

当社グループのAIOT中核企業である「キャセイ・トライテック株式会社」を2025年7月1日付で
「ザイン・モバイルテック株式会社」に社名変更し、ザイン（THine）ブランドのシナジー効果向上



新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 2025年12月期通期業績見通し

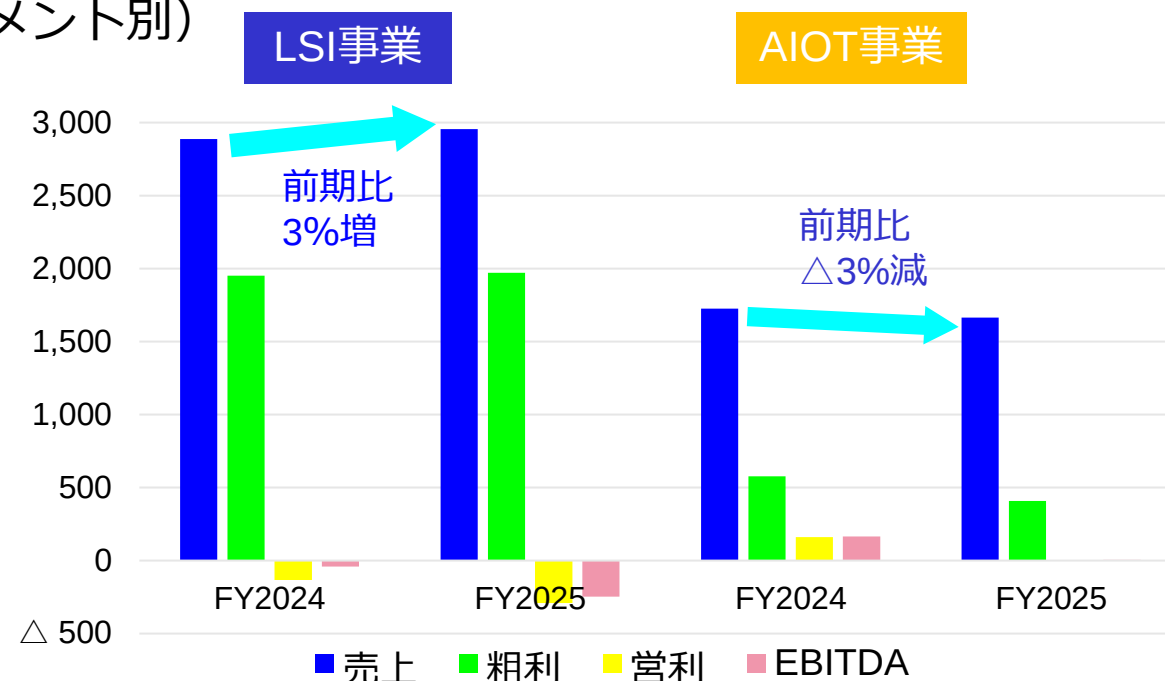
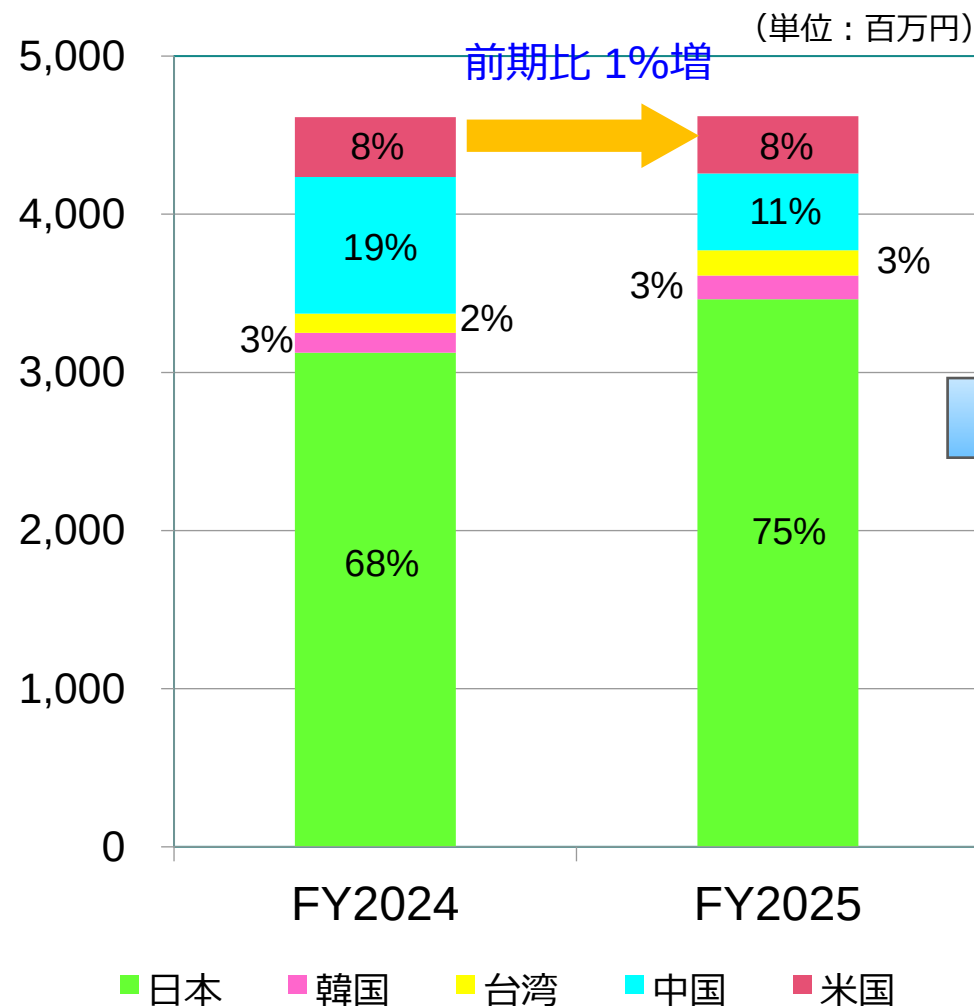
当期より新たな中期経営戦略『Innovate100』をスタートいたしました。目標年次（2027年度）において売上高100億超の実現を目指します。当期においては、最近の業績動向を踏まえ、**通期業績見通しを下記の通り修正いたします。**

（百万円）

	2025年度通期見通し				2025年度計画		2024年実績	
		構成比	計画比	前期比		構成比		構成比
売上高	4,620	100.0	△27.4	+0.1	6,366	100.0	4,614	100.0
売上総利益	2,380	51.5	△24.4	△5.9	3,150	49.5	2,528	54.8
販売管理費	2,670	57.8	△3.6	+6.8	2,768	43.5	2,500	54.2
（うち研究開発費）	1,377	29.8	+0.8	+19.3	1,365	21.5	1,154	25.0
営業利益	△290	△6.3	—	—	381	6.0	28	0.6
EBITDA	△243	△5.3	—	—	455	7.2	125	2.7
経常利益	△407	△8.8	—	—	360	5.7	264	5.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	△279	△6.1	—	—	301	4.7	339	7.4

新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 2025年12月期通期業績見通し（地域別・セグメント別）

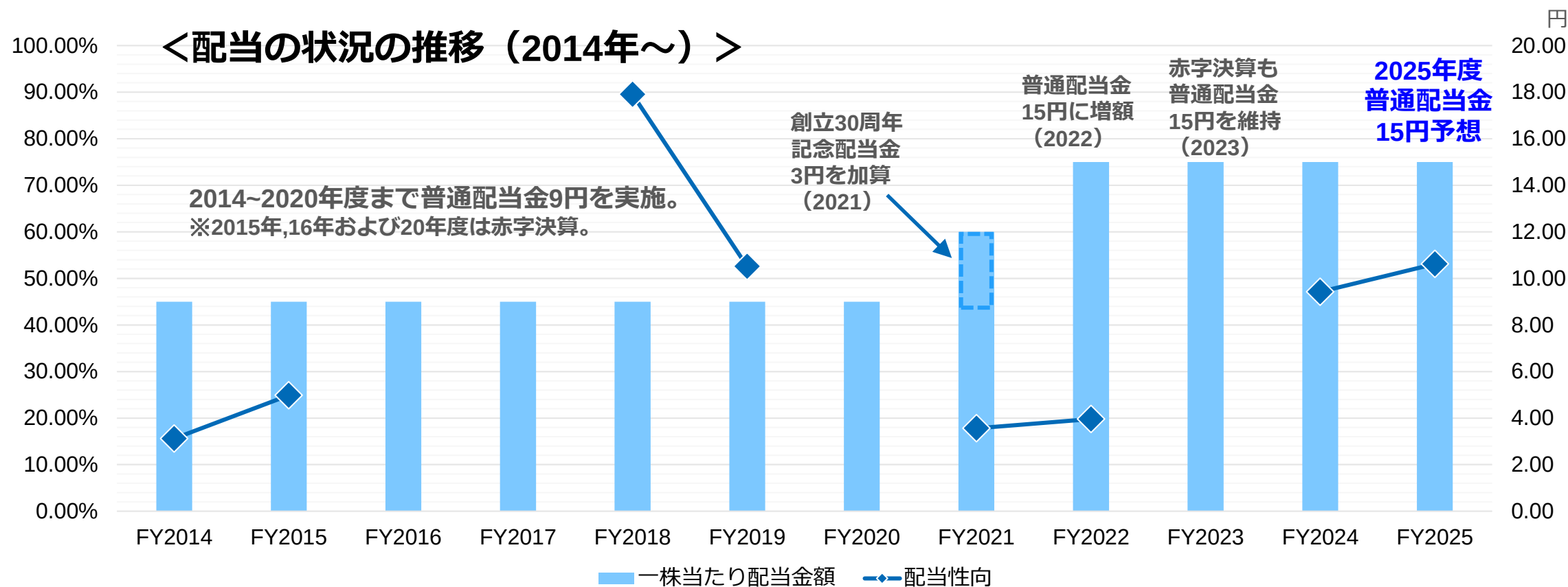


- ▶ LSI事業はOA機器市場向けは回復も、アミューズメント市場向けで依然在庫調整の影響が継続し回復せず。海外市場向けも米国市場向けは堅調も、中国市場も関税問題の影響等により伸び悩み前期比微増にとどまる見込み（+3%）。
- ▶ AIOT事業は当下半期よりスマートメータ向け製品の量産出荷を開始も、ドライブレコーダ・自販機等向けでの大幅な顧客所要減をカバーできず、前期比微減（△3%）の見込み。

新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 株主の皆様への還元方針

新中期経営戦略「Innovate100」の実現に向けて取り組み、今後の成長を踏まえて株主の皆様への還元を実施して参ります。2025年12月期の期末配当については、**従来予想通り1株当たり15円予想で変更はございません。**



TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2025年12月期3QTR業績概要
- 新中期経営戦略「Innovate100」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2025-27

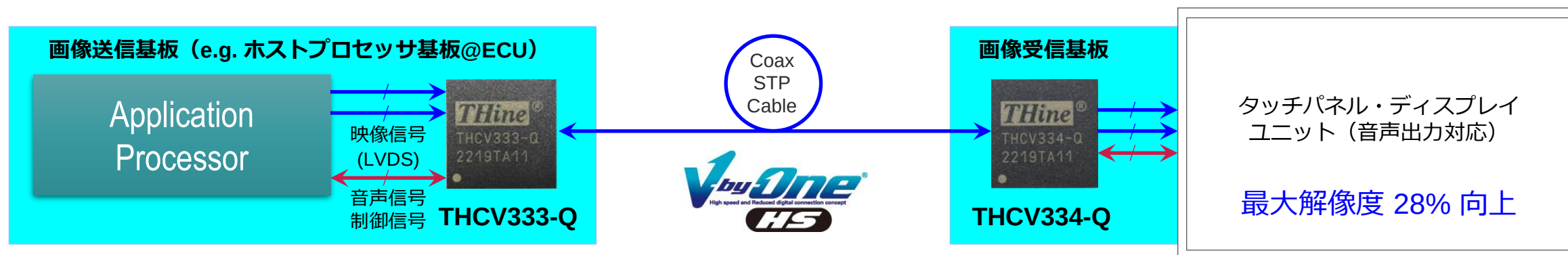
Innovate100

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 車室空間のユーザー体験を拡げる：タッチパネル向け省配線ソリューション

車載・産機組み込みパネル向けV-by-One®HS技術応用 新製品出荷開始

- ▶ フルHD60fps超の映像・タッチパネル制御・音声信号を1チップのみで送受信可能
- ▶ 車載業界における従来他社代表製品と比べて最大データ伝送量およそ28%向上 Open LDI(LVDS)対応SerDesとして業界最速クラス



①車載用組込タッチパネル

- ▶ インフォメーションディスプレイ
- ▶ リアシートエンターテインメント
- ▶ カーナビゲーション
- ▶ ディスプレイオーディオ



②産業用組込タッチパネル

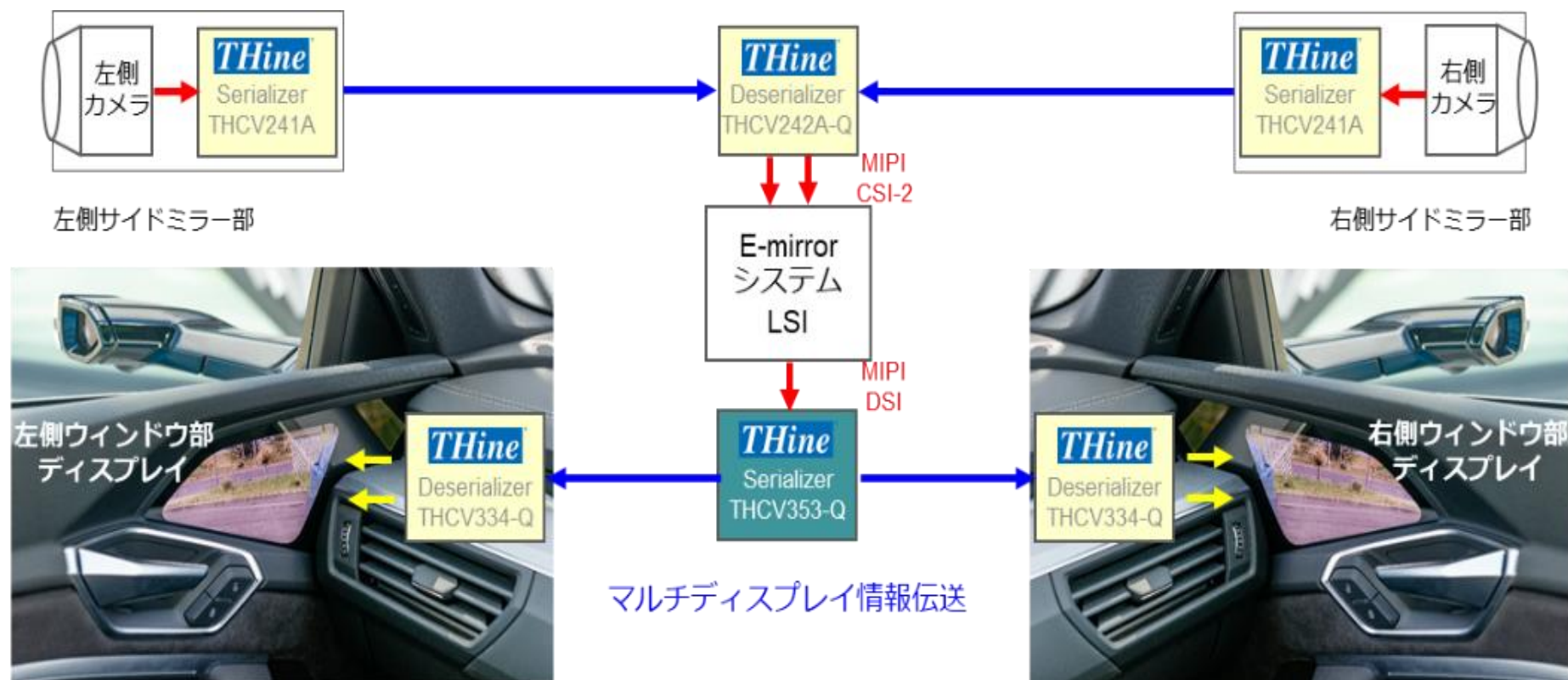
- ▶ HMI/プログラマブル表示機
- ▶ タッチパネル自動販売機
- ▶ エレベータ筐体内パネル
- ▶ 交通系モニタ

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 車室空間のユーザー体験を拡げる：マルチディスプレイ向けソリューション

車載・産機組み込みパネル向けV-by-One®HS技術応用 新製品出荷開始

- ▶ 簡素な車載システムにより、左右サイドミラー部のカメラ映像を左右ウィンドウ部のディスプレイに出力可
- ▶ 優れたタッチパネル応答性能を実現、音声データも動画像データと合わせて同じケーブルで伝送可



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 医療用カメラの革新に貢献

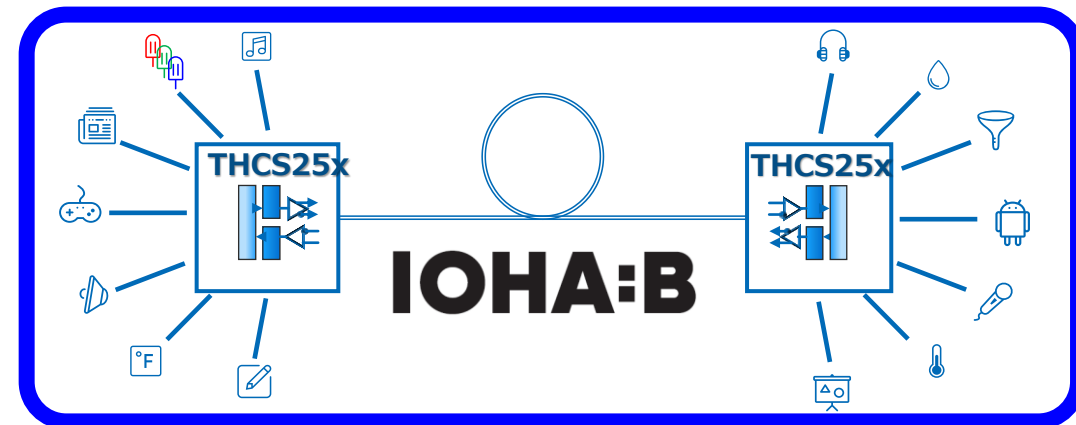
医療用カメラ対応ソリューションの拡販

- ▶ 高解像度 **4K内視鏡カメラ**の実現に貢献
- ▶ 超小型V-by-One® HS製品によりシステム操作部までの数メートルにわたりケーブル1本で伝送可能
- ▶ 画像処理用LSI併用も可能
- ▶ 顧客側AI機械学習により、フルHD内視鏡カメラ、ハイビジョン内視鏡カメラに比較して、早期癌の識別に貢献



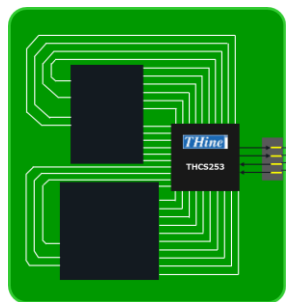
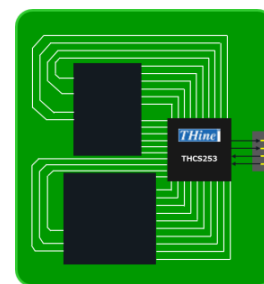
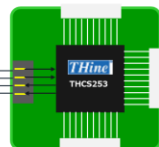
新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ DX-IoTセンサー信号統合ソリューションに貢献

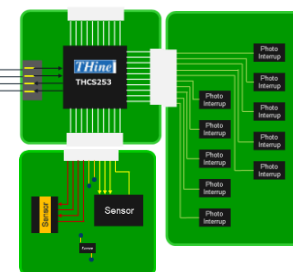
IOHA:B シリアル・トランシーバ新製品を量産開始

DX-IoT Platform with THine

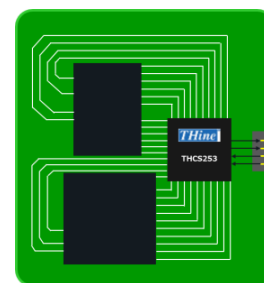
システム本体基板

個別機能基板:
各種センサ,
タッチパネル等

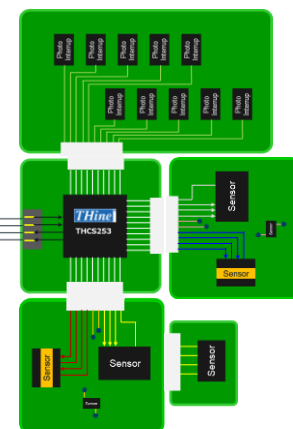
ユースケース①



カメラセンサ、加速度センサを接続



ユースケース②

上記のカメラセンサの接続位置を
変更し、加速度センサを外し、
圧力・温度センサとパネル用タッチ
センサを接続回路設計も
変更も不要

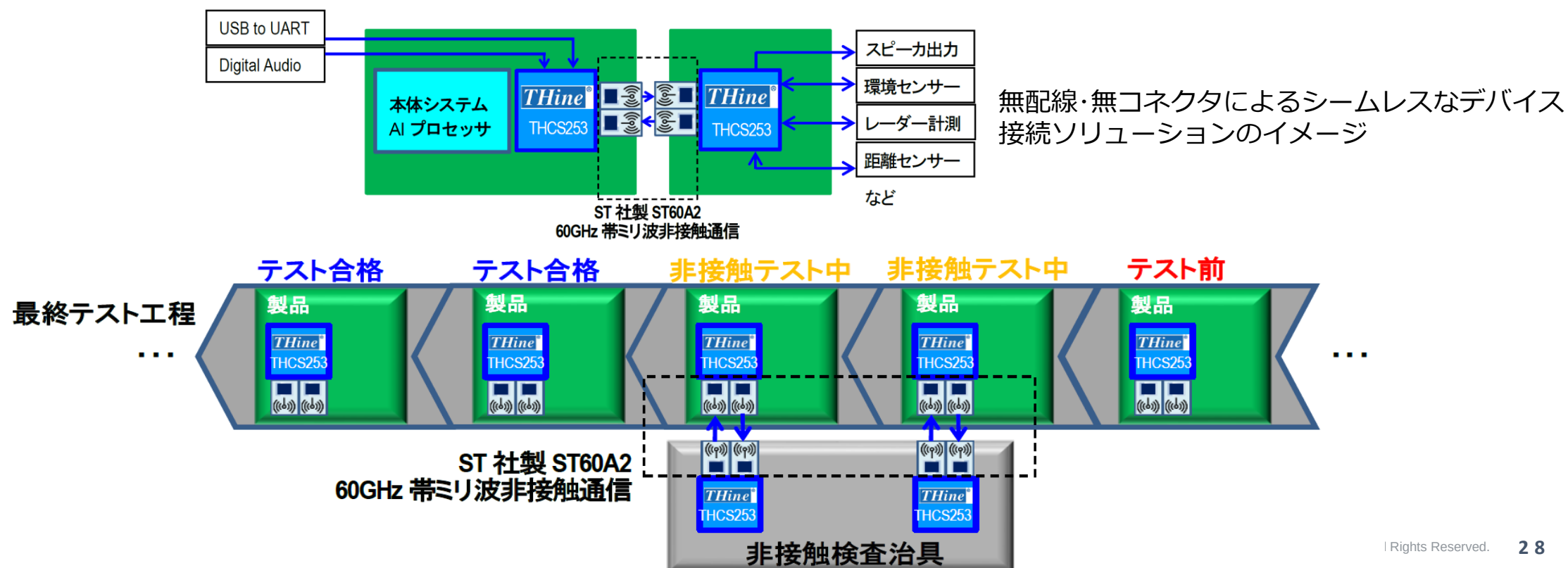
新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 非接触データ通信のユースケース進化への貢献

STマイクロエレクトロニクス社（ST社）の高速近接無線技術とのコラボレーション

- 当社の**高速情報伝送技術**とST社の60GHz帯ミリ波を使用する**高速近接無線技術**と組み合わせることにより新たな高速伝送アプリケーションの進化をサポート

基板対基板の非接触接続やコネクタ不要のソリューション等の新しいユースケースの実現が可能に。

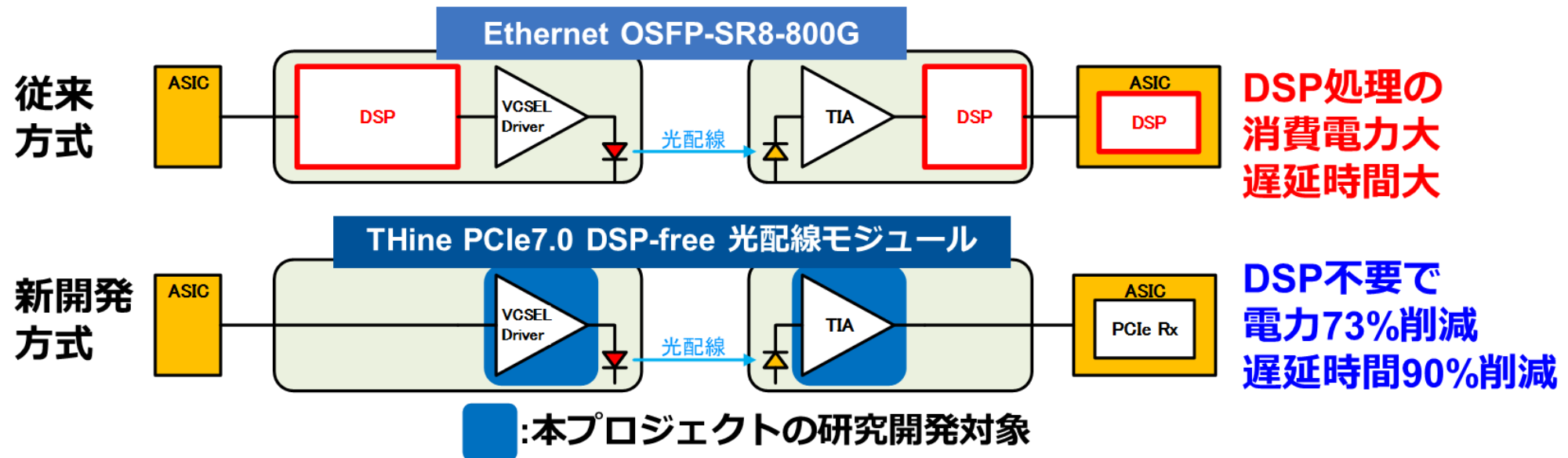


新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

- ▶ 生成AIで拡大するAIデータセンター消費電力削減等への貢献

世界初 VCSEL対応デジタルシグナルプロセッサ不要 (DSPレス) の光半導体を開発

- 次々世代 PCI Express Gen7.0 (超高速2TB/s光通信) 対応、**世界のAI光コンピューティング実現に貢献**
- データ送受信の**電力73%削減**、**遅延時間90%削減**、**AI処理速度向上**が期待される



政府のBeyond5G(6G)基金の研究開発プロジェクト(3年間)※に採択

国立研究開発法人
情報通信研究機構

革新的情報通信技術基金 事業社会実装・海外展開志向型戦略的プログラム[事業戦略支援型]

当初2年度に6.2億円の研究開発費を助成

新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ Beyond 5G・8Kソリューション、Beyond成長力の創出！

1000Gbpsを見据えた（5Gを遥かに超えるBeyond5G）、高速無線通信技術開発への取り組み

世界初のミックスドシグナル広帯域ベースバンドによる超高速低消費電力20Gbps情報伝送技術

国立研究開発法人
情報通信
研究機構

Ministry of Internal Affairs
and Communications

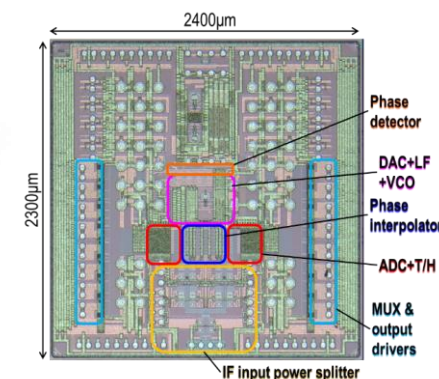
総務省

国立大学法人
広島大学

国立大学法人
名古屋工業大学

学校法人
東京理科大学

THine



多くの分野への応用が期待

- 遠隔医療診断
- e-Sports
- 8K TV、等

2023年5月Wireless Technology Parkにおけるデモ
(於 東京ビッグサイト)



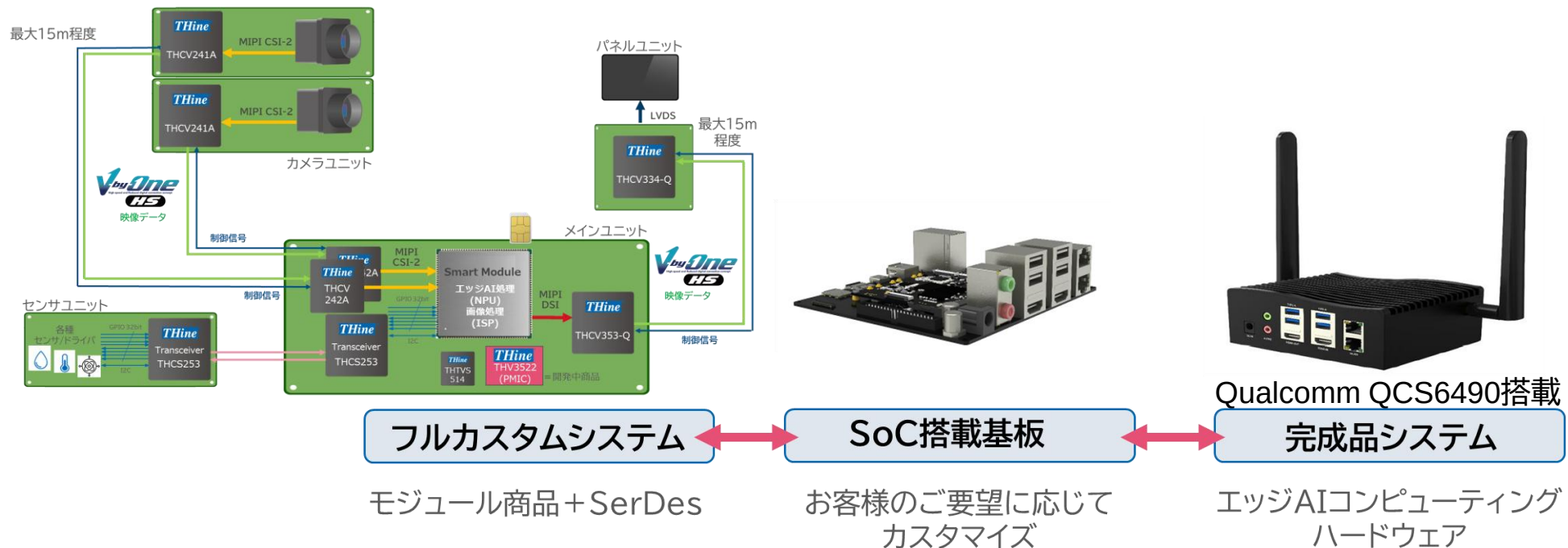
新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

- ▶ 情報伝送技術の価値によりスマートに「つなぐ」 + スマートに「判断する」

EdgeAI-Link[®]ワンストップ・ソリューション (クラウド連携可能エッジAIソリューション)

EdgeAIシステム開発期間を抜本短縮、トータルコスト抑制に貢献

- 1~48TOPSに対応 (高速化ラインアップ拡充可)
- フルカスタム、SoC搭載基板、エッジAIコンピュータなど多様な形態により提供可能
- 顔認証、AIカメラ搭載サイネージ、店舗マーケティング、防犯、ドライブレコーダ等に適用可能

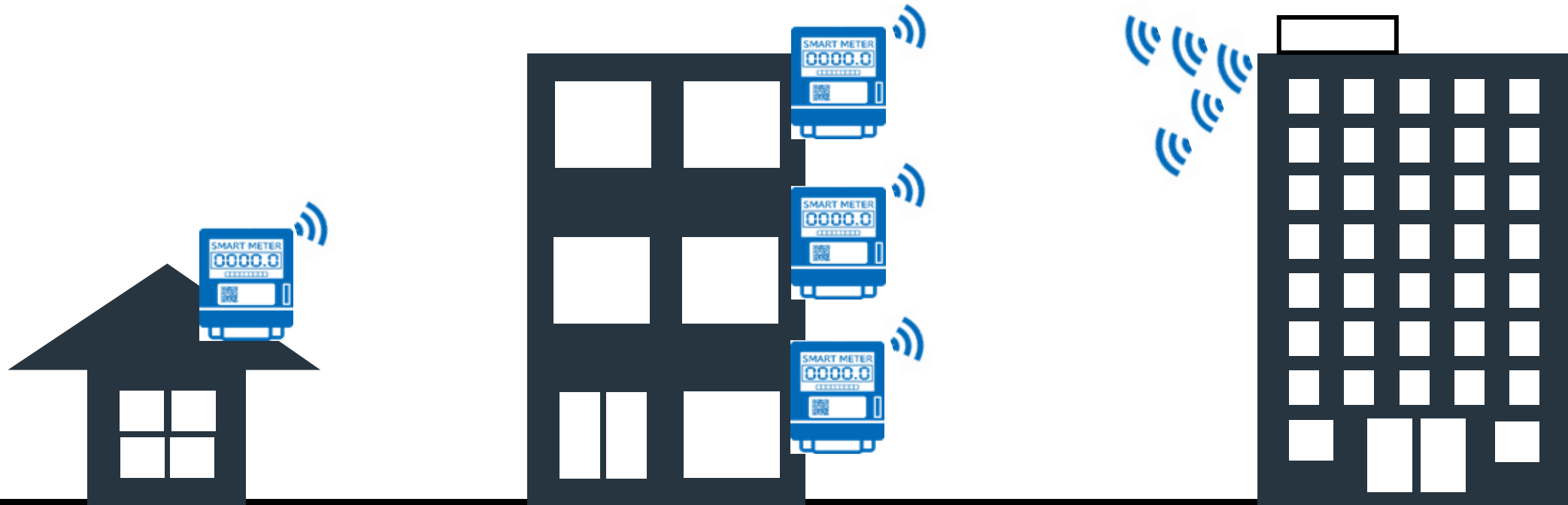


新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ スマートメーター普及活用への貢献

スマートメーター用無線通信モジュールによる機能充実

- 遠隔メーター情報を無線で常時送信する機能
 - メンテナンス機能（セキュリティ機能強化を含む）を充実など
 - お客様ご要望機能をカスタム開発、ファームウェア搭載提供、充実したお客様サポートを提供
- ※ **遠隔データ送信に加えて、使用量の見える化も可能 → データ活用による新しい価値の創出**



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献

LTE/BLE Gateway CTG-B01/B02

■ 製品概要

CTG-B01／CTG-B02は各種BLEセンサー機器のデータを収集しLTE回線にてデータ送信可能なBLE／LTEゲートウェイで、LTE回線の種類により、Cat.M、NB-IoT用CTG-B01、Cat.1bis用CTG-B02の二種類を揃えています。BlueX Micro社が提供する開発環境を利用し各種BLEセンサーに対応するカスタムアプリケーションの開発が可能。GNSSレシーバー機能、外部アンテナによるLTE接続機能も工場生産オプションにて対応。

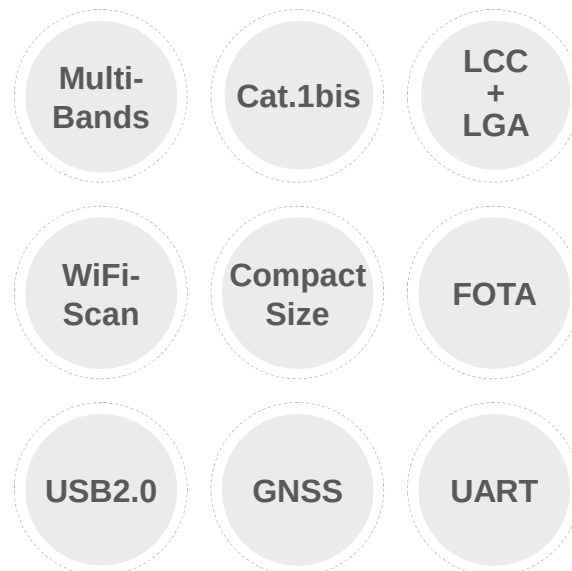
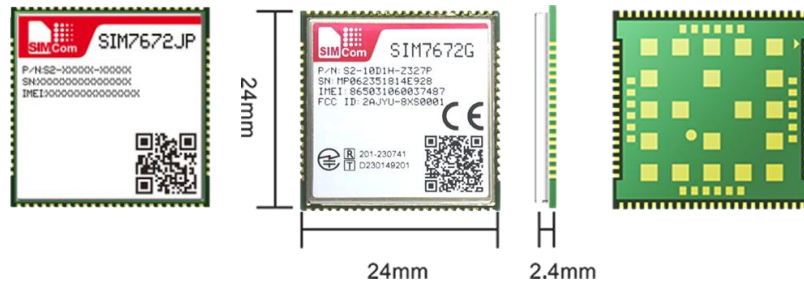


項目		CTG-B01／CTG-B02	
左側面 コネクタ	アプリケーションソフトウェアコネクタ	①	SWDインターフェース
表面インジケータ	電源	②	白
	LTE通信	③	青
	アラーム	④	赤
	BLE通信	⑤	緑
右側面 コネクタ	SIM コネクタ	⑥	Nano SIM push-push タイプ
	USB給電 コネクタ	⑦	Type-C
上側面コネクタ	外部RFアンテナコネクタ	⑧	SMA・メス オプション選択時有効
動作時 平均消費電力	アイドル状態		CTG-B01 約60mA@5V DC CTG-B02 約50mA@5V DC
	通常動作時		CTG-B01 約80mA@5V DC CTG-B02 約60mA@5VDC
動作環境	温度		0 ~ 40℃
	湿度		30 ~ 80%
保存環境	温度		-10 ~ 55℃
	湿度		30 ~ 80%
サイズ	縦×横×高さ		111.5 × 77 × 25.5 (mm)
重量			約105g

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献

SIMCom SIM7672G / SIM7672JP



- LTE Cat.1 bis は Cat.1の改良版であり、Cat.1で要求されるアンテナ2本は必要なく アンテナ1本で通信できる規格で3G回線によく利用されていたIoT通信の置き換えとして最もふさわしいモジュール。
- docomo通信ネットワークKDDI通信ネットワークにおける相互接続性続き、更に SoftbankネットワークとIoT試験も申請中で、通信網接続による問題を未然に抽出・解消することが可能となり、様々な IoT 機器への採用が容易。
- 最新のQCX216チップセットを搭載したLTE Cat 1bisモジュールで、LTE-FDD/LTE-TDDの無線通信モードをサポート。下り最大10Mbps、上り最大5Mbpsをサポート。
- 3つの主要オペレーションシステム(Windows, Linux, Android)用のUSBドライバと複数の内蔵ネットワークプロトコルの 両方をサポート。
- UART、USB、I2C、GPIO などの強力な拡張性を持つ豊富な産業用標準インターフェースを統合しており、テレマティクス、計測、監視装置、産業用ルーター、遠隔診断などの主な IoT アプリケーションに最適。

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献③

ビデオコール端末 CTV-003



らくらく設置

かんたん設定

シンプル操作

■ 仕様/本体(スタンド付き)

通信方式	LTE(VoLTE)
ディスプレイ	8インチ WXGA
タッチパネル	静電式マルチタッチパネル
リモコン	特小無線
サイズ	235(W) x 195(H) x 65(D) mm
電源	AC100~240V
重量	0.9 kg
動作温度	0℃~40℃

■ 製品の特徴 (LTE回線網対応)

医療・福祉分野での利用シーンを想定した機能を搭載かんたんビデオコール端末
<タッチフォン>

- ◆ いつでもどこでもつながりあえる便利さ
 - ・ 外出先、遠隔地、LTE回線のビデオコールなら、いつでもどこでもつながります。
- ◆ 子供やお年寄りにもやさしい操作性
 - ・ タッチパネルでワンタッチ、
 - ・ リモコンでワンプッシュで誰にでもかんたん。
- ◆ 顔の見える安心コミュニケーション
 - ・ 表情はもちろん、手振りなど助きも見える安心が、生活のさまざまなシーンを支えます。

■ シンプルリモコン

赤外線に比べ壁や遮へい物の影番を受けにくい特定小電力無線を採用。

■ バッテリーを搭載

電源なしでも一定時間はビデオコール可能なので、急な停電時でも安心。

■ リダイヤル発信/自動着信機能

ビデオコールを自動で開始する「自動着信機能」や、相手と通信を開始するまで発信を繰り返す「リダイヤル発信」など、医療・福祉分野での利用シーンを想定した機能を搭載。

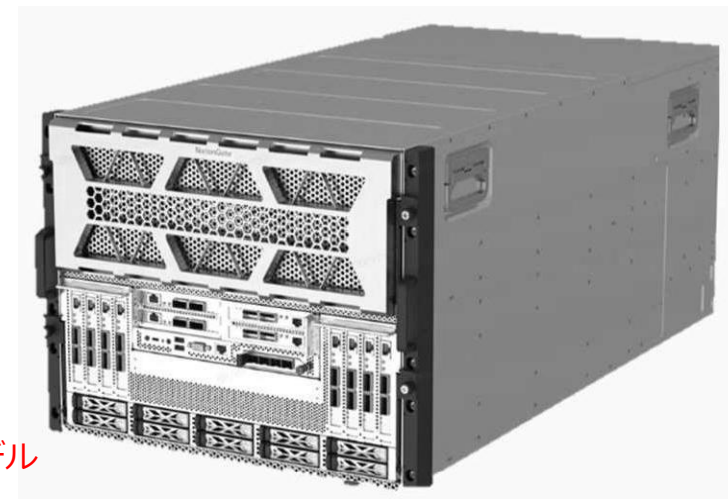
* 通常の電話機としても利用可能。

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ LSI, AIOTに次ぐ第3の事業の柱を確立、サーバー事業の立ち上げを加速

サーバー事業子会社「ザイン・ハイパーデータ株式会社」にて事業活動本格化

- 昨年度、合併企業として設立したザイン・ハイパーデータ(株)について、2025年4月、米中問題に起因する当社事業環境変化に鑑み、合併契約を解消し当社100%子会社化を実現。
- AIOT事業との親和性を活用し、日系企業・研究機関に対してサーバー事業を通じてAI等計算資源の活用への貢献を目指す。
- NVIDIA製GPU 搭載のAIサーバーを含む各種サーバー機器の中堅中小データセンター向け納入に向けて拡販中。



TA-8140 8U AI サーバー
Nvidia H100/H200 HGX GPU搭載モデル

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ SDGs目標への貢献 (社会貢献)

Interface to the Future - Solution by Smart Connectivity -

スマートに「つなぐ」ことにより、地球的負荷削減への貢献を目指します。



- ✓ V-by-One[®] HS plus Standard提供を通じた高精細ディスプレイの省電力化などによるエネルギー削減への貢献
- ✓ 車載センサー画像のスマート伝送への貢献
- ✓ 高速伝送技術によるケーブル本数削減への貢献
- ✓ 電源システム熱効率改善によるエネルギーの削減への貢献
- ✓ AI・IoT技術による人的・物的移動エネルギーの削減への貢献

Interface to the Future

- Solution by Smart Connectivity -

URL <https://www.thine.co.jp/>

【お問合せ先】

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9-1

総務部IR担当（TEL: 03-5217-6660）

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断に基づき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、本資料に記載されている各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。